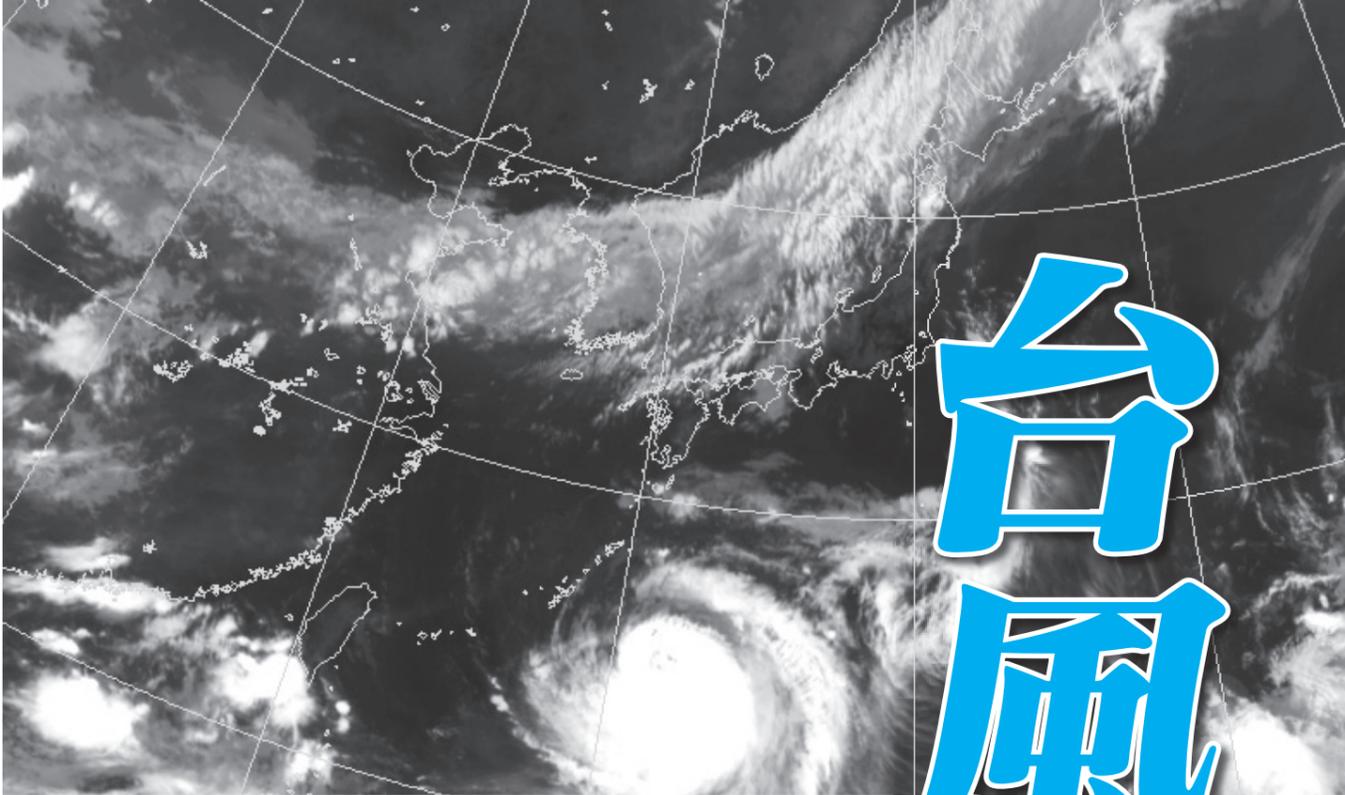


台風

の季節です！



▲衛星観測画像（気象庁ホームページより）

強い風と大量の雨をもたらす台風は、地震や集中豪雨と違って、ある程度襲来時期や大きさを予測することができます。日ごろから気象情報に注意して、早めの対策を心掛けましょう。

台風には十分な警戒を

台風による死傷者の多くは、強風によるものです。台風接近中、屋根の上で作業している際に転落したり、家や船、田など屋外での作業中に、事故は起こっています。台風に対する備えを早めに行い、強風時には外に出ないようにしましょう。

一方、台風は豪雨にも注意が必要です。局地的な大雨により土砂災害が発生する場合があります。自宅裏の崖や裏山から水が吹き出した場合には、早めに避難をしましょう。

また、大雨により河川などが増水するおそれがあるので、近づかないようにしましょう。

台風が近づいたら

台風が近づいたら、ラジオ・テレビ・インターネットなどの台風情報や気象情報に注意し、万が一のときに余裕を持って行動ができるよう万全の対策をとりましょう。

夜の停電に備えて

停電時に慌てないように、事前に懐中電灯や携帯ラジオを決まった場所に置いておきましょう。また、長時間にわたり停電する場合があります。予備の電池や食料品・飲料水を十分用意し、風呂には水を張り（幼児の転落に注意）、トイレなどに使う生活用水を確保しておきましょう。

家のまわりの安全点検

家のまわりの飛ばされそうなものは取り込んでおく
 ・住宅の瓦、雨戸、アンテナなどの補強をしておく
 ・水路のゴミや土砂、住宅の雨どいの掃除をしておく

避難の準備

避難場所を確認し、家族で避難経路の話し合いをしておく
 ・避難に備えて、乳幼児や病人、高齢者の支度を整えておく

台風通過後の確認

家のまわりに破損箇所はないか点検する

自主防災組織の活動内容

- 平常時
 - ・ 防災知識の普及
 - ・ 地域の災害危険箇所の把握
 - ・ 防災訓練
 - ・ 火気使用設備器具などの点検
 - ・ 防災用資機材の整備
- 災害時
 - ・ 情報の収集・伝達
 - ・ 出火防止、初期消火
 - ・ 避難誘導、救出、救護
 - ・ 給食、給水

防災研修会を開催します

市では昨年度に引き続き、地域防災力の強化のため、希望する2自治会を対象として、防災研修会を開催します。

- 内容（全4回）
 - ・ 防災図上演習
 - ・ 防災まち歩き など
- 開催を希望する自治会は、防災危機管理課まで問い合わせください。

防災出前講座を行っています

市では災害に関する知識を深め、防災意識を高めるため、防災危機管理課職員による「防災出前講座」を実施します。自治会集会やサロンなど、皆さんの



▲出前講座の様子

特別警報について

気象庁では平成25年8月30日から特別警報の発表を開始しました。特別警報が発表された場合、その地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。屋外の状況や避難指示、避難勧告などに留意し、すぐに命を守る行動をとってください。

また、大雨などの被害を防ぐためには、時間を追って発表される注意報、警報その他の気象情報を利用して早め早めの行動をとることが、あなたや家族の命を守ります。特別警報の詳細については、

気象庁ホームページで確認してください。

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/tokubetsu-keiho/index.htm>

■問い合わせ 防災危機管理課
Tel 23・1111

台風3つの知識

台風とは

北西太平洋または南シナ海の海上で発生した熱帯低気圧で、中心付近の最大風速がおおよそ17m/s以上になったものです。

台風の「大きさ」と「強さ」

台風の勢力を示す言葉として台風の「大きさ」と「強さ」があります。

「大きさ」は「強風域（風速15m/s以上の強い風が吹いている範囲）」の半径の大きさを判断します。また「強さ」は「最大風速」で表します。

さらに、強風域の内側で風速25m/s以上の風が吹いている範囲を「暴風域」と呼びます。

- 大型 500km以上 800km未満
- 超大型 800km以上
- 強さ
- ・ 強い 33m/s以上 44m/s未満
- ・ 非常に強い 44m/s以上 54m/s未満
- ・ 猛烈な 54m/s以上

山口県土木防災情報システムを活用しよう

市内6河川（木屋川、泉川、掛淵川、大坊川、深川川、三隅川）の水位や雨量などの情報は、山口県土木防災情報システムで見ることが出来ます。

- 山口県土木防災情報システム <http://y-bousai.pref.yamaguchi.jp>

ハザードマップを活用しよう

市では洪水ハザードマップ（木屋川、泉川、掛淵川、大坊川、深川川、三隅川に関する世帯）と地震防災マップを配布しています。

洪水や土砂災害の危険性を認識し、いざというときのために役立ててください。

長門市防災メールを活用しよう

市では、あらかじめ登録した人に気象情報・避難情報や交通安全、火災情報、防犯、国民保護の情報などを携帯電話やパソコンなど、メール受信できる機器に配信しています。

登録は無料ですが、メールを受信するときにかかる通信料は自己負担となります。

登録・変更方法

- 1 登録・変更用のアドレス、e-nagato@xpressmail.jpへ空メール（件名や本文を入力しないメール）を送信してください。QRコード対応の携帯電話であれば、下図からアドレスを読み込めます
- 2 登録・変更用メールが届きます。メール本文に記載されたアドレスにアクセスしてください
- 3 登録・変更画面の指示に従って、必要な情報や地域をチェックしてください
- 4 「登録」ボタンを押して登録完了です



自主防災組織で「たちむかおう」

台風や地震、大雨、がけ崩れ、地すべりなどの災害は、いつ起こるか分かりません。市や防災関係機関が応急活動を行います。市民の皆さんの自主的な防災活動があれば被害を最小限に食い止めることができます。自主的な防災活動を行う自主防災組織は、一般的に自治会などの組織で結成されています。